

ミノカモ学生演劇祭（2012年度～2018年度）

○「ミノカモ学生演劇祭」とは

ミノカモ学生演劇祭は「**ミノカモで書いて**」「**ミノカモで発表する**」**新しいカタチの学生演劇大会**です。美濃加茂市は、明治・大正時代から昭和にかけて演劇改良を志し、文芸協会を指導した坪内逍遙が生まれたまちです。逍遙は、文芸協会で演劇未経験者の学生や若者を集め、一流の演劇人に育て上げました。また、人間の心の葛藤をありのままに描く写実主義を提唱し、日本の近代文学に計り知れない影響を与えた文学者でもあります。

この歴史的とゆかりを活かした文化発信として、若い人に舞台発表の場を提供しながら、学生演劇の登竜門的な催しに育っていければと願い、「ミノカモ学生演劇祭」は2013年にスタートしました。

当演劇祭の参加条件は、**大学・短大・専門学校等の学生演劇サークル**です。

書類選考を通過した学生たちは、12月にみのかも文化の森で2泊3日の「戯曲ワークショップ」に参加します。美濃加茂市内のいろいろな場所に訪れ、文化や自然、人々の営みにふれます。そこからインスピレーションを得て、日本劇作家協会東海支部所属のプロの劇作家の指導のもと、**美濃加茂で「見たこと」「感じたこと」を20分間の作品に作り上げ、3月に文化会館にて発表します。2日間の公演をご覧になった一般の皆様が審査員となって、最も得票した作品が「ミノカモ学生演劇祭」グランプリの称号が得られます。**

参加した学生たちにとって、グランプリを目指すことも大きな目標ですが、共に切磋琢磨した仲間たち、恩師となる劇作家の皆様への厳しくも愛情ある指導、プロの音響、照明スタッフの皆様と作り上げた舞台、作品を作り上げていく中での美濃加茂市の人々との交流、この「ガクゲキ」の体験そのものこそが、彼らにとって、宝物となり、また将来、日本で活躍する演劇人となるスタートとなっているのではないのでしょうか。

また、学生たちのエネルギー溢れる舞台は、観た方々にも様々なインスピレーションを与えたようです。

（以下、アンケートから抜粋）

「**若者の感性で、美濃加茂再発見**ができました。」（第1回）

「**地元で学生演劇**を見られると思わなかったのが**本当に良かった**です。」（第2回）

「**台本に多く美濃加茂市**のことを取り入れているところもあたりしてよかったです。

美濃加茂市民としてうれしく思いました。」（第2回）

「このような企画を**美濃加茂で行われることは大変いいこと**です。

もっと市内外にPRして彼らの思い・願い・頑張りを伝えたいものです。」（第3回）

「この地域で唯一の**高校部活！地元加茂高のエキシビジョンを入れたのがとてもよかったです！！**

高校生スゴイ！」（第4回）

「どの作品も作り方見せ方が上手くてこれから**高校演劇をするヒントになるものがたくさんあって**

本当にみてよかったなと思いました。」（第6回）

「久しぶりに学生演劇を見ました。自由な発想で社会に物申してください。

奇想天外なアイデアを期待しています。私達は**美濃加茂市に転居して一年目、新鮮に驚いています。**」（第7回）

様々な叱咤激励の中、自分たちの住む街について、改めて感じるものを綴った感想もいただきました。

逍遙の生まれた美濃加茂市に市民の皆様が誇りを愛着を持つ機会でもある「ミノカモ学生演劇祭」です。

○第1回～7回の演劇祭

回	公演日	公演場所	演目	参加団体	審査員・司会
第1回	2013（平成25）年 3月9・10日	文化会館	『天狗』	岐阜大学演劇研究会 （岐阜大学）	特別審査員 永井 愛
			『みのかも、はる、にどめ』	劇団さる/劇団獅子連合 <small>（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学&名城大学）</small>	審査員 天野天街（少年王者館） 鹿野由紀（劇団あおきりみかん） 刈馬カオス（刈馬演劇設計社）
			『人柱』	劇団とらの穴 （中部大学）	平塚直隆（オイスターズ） 宮谷達也（演劇組織KIMYO）
			『ツアー・スター・ピープル』 ☆グランプリ	劇団テロ集団《新》 （早稲田大学）	司会 はせひろいち（劇団ジャブジャブサーキット） 鏡味富美子
			『天狗の唄』	「HI-SECO」企画 （南山大学）	

第2回	2014(平成26)年 3月8・9日	文化会館	『虹と足』	「HI-SECO」企画 (南山大学)	特別審査員	安住恭子
			『いってきます』 ☆グランプリ	金星ロケット (名古屋学芸大学)	審査員	刈馬カオス (刈馬演劇設計社) 渡山博崇 (星の女子さん) 長縄都至子 (劇団きまぐれ) 宮谷達也 (演劇組織KIMYO)
			『カキ・イン・ザ・1K』	劇団とらの穴 (中部大学)	司会	はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット) 鏡味富美子
			『犬たちのみじかい三月物語』	劇団テロ集団《新》 (早稲田大学)		
			『ミノカモ名古屋』	劇団獅子 (名城大学)		
第3回	2015(平成27)年 3月7・8日	文化会館	『つちの夢』	劇団とらの穴 (中部大学)	特別審査員	安住恭子
			『c=3.0m/s』	劇団新生 (名古屋大学)	審査員	はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット) 刈馬カオス (刈馬演劇設計社) 渡山博崇 (星の女子さん) 長谷川彩 (劇団さよなら)
			『ビサイド』 ☆グランプリ	赤いスリッパ企画 (名古屋学院大学ほか)	司会	天野順一郎 (劇団「放電家族」/どっかんプロ) 鏡味富美子
			『さようなら僕のちいさなおうち』	Nomad (北九州市立大学・大手前大学)		
第4回	2016(平成28)年 3月12・13日	文化会館	『虚の森』	幻想劇団まほろ (南山大学)	審査員	刈馬カオス (刈馬演劇設計社) 渡山博崇 (星の女子さん) 長谷川彩 (劇団さよなら) はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット)
			『キャトリズム』	赤いスリッパ企画 (名古屋学院大学ほか)	司会	天野順一郎 (劇団「放電家族」/どっかんプロ) 鏡味富美子
			『天狗の日常』	劇団とらの穴 (中部大学)		
			『海水浴とか行ってみたい』 ☆グランプリ	劇団獅子 (名城大学)		
			『楽屋講評』 ※エキシビジョン 12日のみ	岐阜県立加茂高等学校 演劇部		
第5回	2017(平成29)年 3月18・19日	日本昭和 村	『秒針は秒速』	野坊主 (愛知淑徳大学)	審査員	刈馬カオス (刈馬演劇設計社) 渡山博崇 (星の女子さん) 中屋敷法仁 (劇団「柿喰う客」) はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット) 平塚直隆 (オイスターズ)
			『決戦前夜』	劇団快適システムJr. (ヒューマンアカデミー那覇校)	司会	天野順一郎 (劇団「放電家族」/どっかんプロ) 中内こもる (劇団中内(仮)/クリアレイズ)
			『トオイアシタ』	劇団とらの穴 (中部大学)		
			『人々人々人々波打って流れる川っぼい』 ☆グランプリ	かまどキッチン (桜美林大学)		
			『サイコーな毎日～私の夢と分岐点』	なんとなくの集い (東海学園大学)		
			『好きだ!とか言ってみよう。』	劇団ひとひらり (名城大学)		
			『practice=実践する』	くらやみのいろ (多摩美術大学)		
			『ショーは平静、この後も平静』	喜劇のヒロイン (南山大学)		
第6回	2018(平成30)年 3月10・11日	文化会館	『みじかし夜の遠花火』	芝居企画花鳥風月 (桜美林大学)	特別審査員	岩崎う大 かもめんたる※3 槇尾ユウスケ
			『地球類日本目こんなもん科ボクの家属』 ☆グランプリ	かまどキッチン (桜美林大学)	審査員	鏡味富美子 刈馬カオス (刈馬演劇設計社) 渡山博崇 (星の女子さん)
			『HEY!TAKAXI!』	喜劇のヒロイン (南山大学ほか)	司会	天野順一郎 (劇団「放電家族」/どっかんプロ) 中内こもる (劇団中内(仮)/クリアレイズ)
			『なくななくななくな』	はねるつみき (岐阜大学ほか)		

第7回	2019（平成31）年 3月9・10日	文化会館	『セクシー・キャバクラ』	冗談だからね （京都造形芸術大学）	特別審査員	渡辺えり ※4
			『あくび』	アーバン野蛮人 （桜美林大学）	審査員	鏡味富美子
			『名前だけでも、ド忘れ』 ☆グランプリ	喜劇のヒロイン （南山大学・日本大学）		刈馬カオス（刈馬演劇設計社） 長谷川彩（劇団さよなら） 宮谷達也（10日のみ）
			『レットテル症候群』	劇団かもしれない （愛知淑徳大学ほか）	実行委員長	渡山博崇（星の女子さん）
					司会	天野順一郎（劇団「放電家族」/どっかんプロ） 中内こもる（劇団中内（仮）/クリアレイズ）

<特別審査員紹介>

- ※1 永井 愛 （第1回） 劇作家・演出家。日本劇作家協会副会長。二兎社主宰。
- ※2 安住恭子 （第2・3回） 演劇評論家。演劇の脚本、演出のほか、プロデュースを多数行っている。
- ※3 かもめんたる （第6回） お笑い芸人コンビ。「劇団かもめんたる」としての活動も行っている。
- ※4 渡辺えり （第7回） 俳優・演出家・劇作家・作詞家。日本劇作家協会会長。オフィス300（さんじゅうまる）主宰。

- 主催 ミノカモ学生演劇祭実行委員会 美濃加茂市
- 企画/制作 ミノカモ学生演劇祭実行委員会
- 協力 日本劇作家協会東海支部